

★微細藻類・微生物・発酵技術はどこまで産業になるのか？「EXPO2025」が示す次世代産業像
★万博展示を通じて見る実証・スケールアップの現実、市場化への現在地
★基礎研究から社会実装までの技術的ギャップを俯瞰

セミナーNo.603206



～微細藻類，細胞，微生物，菌類，発酵，バイオマス材料，生物模倣性など～

「EXPO2025 大阪・関西万博」での事例で読み解く

「次世代バイオものづくり」の動向と事業化可能性

- 日 時: 2026年3月18日(水) 10:00～17:00 ●聴講料: 1名につき 66,000円(消費税込み・資料付)
●会 場: Zoomを使用したLive配信セミナーです。 [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき60,500円(税込)]
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

1. 細胞培養による「バイオものづくり」の概要、今後の展望について [10:00～11:00]	
細胞農業研究機構 代表理事 吉富愛望アビガイル 氏	
1. 基礎知識 1.1 細胞農業研究機構のご紹介 1.2 細胞性食品とは 1.3 なぜ注目されているか 1.4 大阪・関西万博でのハイライト	2. 販売に関する今後の予想 (世界・日本) 3.1 主要各国のルール形成状況 3.2 日本のルール形成状況
2. 開発・販売動向 2.1 諸外国における開発・販売動向 2.2 国内における開発・販売動向	3. 今後の展望シナリオ分析 4.1 日本産業として細胞性食品の潮流にどのように対処するか 4.2 既存産業への影響に係る分析 【質疑応答】
2. バイオマスプラスチックの現状と今後の可能性について [11:10～12:30]	
環境・バイオ・プラスチックリサーチ 代表 位地 正年 氏	
1. バイオマスプラスチックの分類と特徴、現在の課題 1.1 分類と特徴、現在の課題 1.2 利用可能なバイオマスの現状と将来候補 1.3 生分解性(海洋分解性を含む)のメカニズムと評価方法	2. CO ₂ -メタネーションに係る技術動向 2.1 合成燃料の基本反応・必要技術 2.2 バイオメタネーション技術 2.3 バイオマスメタネーション技術 2.4 サバディエメタネーション技術 2.5 革新的メタネーション技術 【質疑応答】
2. 生産・利用、認証、規制の動向 2.1 世界と日本のバイオマスプラスチックの生産・利用状況と将来予想 2.2 各国での認証や規制の動向	3. 400 Nm ³ -CO ₂ /hのNEDO-実用化技術開発事業における2024年度成果 3.1 事業概要 3.2 反応シミュレーション技術開発 3.3 反応プロセス技術開発 3.4 スケールアップ等適用性検討
3. 主要なバイオマスプラスチックの構造と物性や用途の説明 (バイオPE, PLA, PBS, PHA, バイオポリアミド, バイオポリカーボネート, デンプン変性系, セルロース系)	4. 今後の事業化展望、課題
4. 開発事例 4.1 ポリ乳酸複合材 4.2 セルロース系バイオマスプラスチック 4.3 藻類利用バイオマスプラスチック	【質疑応答】
5. バイオマス利用と海洋分解性やリサイクル性の実現による用途拡大 【質疑応答】	
3. 微細藻類による燃料、材料、工業的応用とその可能性について [13:20～14:20]	
(株)ちとせ研究所 Tech & Biz Development Div. Manager 猪崎 風葉 氏	
1. 千年続く本当の持続可能な社会とは	2. 微生物の工業的活用 2.1 微生物のはたらき 2.2 循環型社会の実現に向けて
	3. 発光微生物を用いたバイオライト 3.1 発光微生物とは 3.2 あかりとしての実用化に向けて 3.3 大阪・関西万博での出展 【質疑応答】
2. 微細藻類の魅力 2.1 千年先の社会の中心になり得るポテンシャル 2.2 植物と比べた微細藻類の優位性 2.3 燃料だけじゃない藻類バイオマスの用途 2.4 藻類産業の実現に向けて 2.5 100以上の機関が集うMATSURIイニシアチブ 2.6 商業化に向けた微細藻類の大規模生産の進捗と課題 2.7 藻類バイオマスの用途開発と新しい市場の創生 2.8 今後のロードマップ	
3. 大阪・関西万博での藻類への注目度 3.1 日本館での藻類の生きた展示と藻類由来製品の展示 3.2 色々あった、展示の裏側 3.3 その後の反響と期待される今後の藻類産業への影響 【質疑応答】	
4. 合成燃料における成分の合成や燃料製造 [14:30～16:50] ～合成メタンを中心に、バイオメタネーションからサバディエ、革新的メタネーションまで～	
(株)INPEX 再生可能エネルギー・新分野事業本部 技術ユニット プロジェクトジェネラルマネージャー 博士(工学) 若山 樹 氏	
1. INPEXの2050 ネットゼロへの取組み 1.1 INPEX Vision@2035 1.2 2035年にありたい姿 1.3 CO ₂ -メタネーションの位置付け	2. 合成燃料の工業的活用 2.1 微生物のはたらき 2.2 循環型社会の実現に向けて

講師紹介割引申込書

「バイオものづくり」セミナー

No.603206

3／18

- ・講師からの紹介として、聴講料を**左記定価より20%割引**きいたします。
- ・2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。
- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX (03-5436-7745) にてお申込みください。
- ・当社(技術情報協会)への直接のお申込みに限り、本割引サービスを適用いたします。

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail	
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便)・FAX・e-mail]			
個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-7745

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります。